

様式第6号（第20条関係）

番 号  
2022年 6月 24日

佐賀県知事 様

住 所 宮城県石巻市駅前北通り1-5-23  
団 体 名 一般社団法人 日本カーシェアリング協会  
代表者職・氏名 代表理事 吉澤武彦  
電話番号 0225-22-1453

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による  
寄附金活用実績報告書

2022年2月4日付け県協第2103号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

## 令和3年度寄附金活用実績報告書

事業名	寄付車を活用した支え合い構築事業
寄附受入額	金 1,780,200 円
事業内容 (いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
<p>1. コミュニティ・カーシェアリング事業</p> <p>■期間：2021年4月～2022年3月</p> <p>■内容：住民主体で車を使った支え合いを通して地域づくりを行う活動（コミュニティ・カーシェアリング）の説明会及び希望する地域への導入支援・普及啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・10月28日（木） 令和3年度誘致CSOとの交流会・協働に関する意見交換会 「車をおもやいする社会像」（京都屋） 吉澤武彦 講演</li><li>・11月7日（土）、8日（日） おもやいフェスタにて活動PRブース出展</li></ul> <p>2. ソーシャル・カーサポート事業</p> <p>■期間：2021年4月～2022年3月</p> <p>■内容：生活困窮者への低価格の車の貸し出しによる生活再建支援 NPOなどへの低価格での車の貸し出しによる活動支援 災害時に返却するカーリースの普及を通して災害時の車不足を解消する活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・8月31日 認定NPO法人スチューデント・サポート・フェイス、グリーンコープ生活協同組合さがと包括連携協定を締結。</li><li>・2月19日 生活困窮者自立支援の先進事例共有会 ～困窮者支援×自動車貸出のインパクトと課題～（ZOOM） ※年度誘致CSO・県内CSOコラボ事業応援補助金を活用</li></ul> <p>3. モビリティ・レジリエンス事業（災害が発生しない場合は実施しない）</p> <p>■期間：2021年4月～2022年3月</p> <p>■内容：災害時に車を被災した個人・支援団体に無料で貸し出す支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・令和3年度8月豪雨支援 [貸出し期間] 8月17日～11月30日 [述べ貸出件数] 103件</li></ul>	

## 事業実施の成果・効果（見込み）

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

### 1. コミュニティ・カーシェアリング事業

コミュニティ・カーシェアリングの導入までに至らなかったが普及啓発活動に取り組むことができた。

### 2. ソーシャル・カーサポート事業

・認定NPO法人スチューデント・サポート・フェイス、グリーンコープ生活協同組合さがと包括連携協定を締結

・本事業において合計28件の車両の貸出しを実施。

- |                     |
|---------------------|
| ・生活お助けリース：貸出件数 8件   |
| ・ソーシャルカーリース：貸出件数 6件 |
| ・災害返却リース：貸出件数 14件   |

・令和3年度は生活お助けリースで車を利用していた方のうち3件が車の購入費用の貯蓄ができ、ご自身で車を購入して卒業。1件は現在も利用中であるが生活保護から脱却することができた。

※生活お助けリースでの協働：自立支援センター（佐賀県、小城市、神崎市）  
社会福祉協議会（多久市、太良町、鹿嶋市）

### 3. モビリティ・レジリエンス事業

令和3年8月豪雨において、車を被災した方や支援活動を実施する団体に11月30日まで車の無償貸出しを実施。

[貸出し期間] 8月17日～11月30日

[述べ貸出件数] 103件

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		寄付車を活用した支え合い構築事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	1,780,200	第4回交付:1,780,200円
	年度誘致CSO・県内CSOコラボ事業 応援補助金	25,000	
	令和3年8月大雨被害に関する支援活動	3,020,000	日本財団
	2021年豪雨被災者支援プログラム	5,418,490	ジャパン・プラットフォーム
	2021年度積水ハウスマッチングプログラム	500,000	積水ハウスマッチングプログラム
	自己負担額	19,154	
	繰越金	515,521	
	収入計	11,278,365	
支 出	給与	3,560,652	
	旅費	1,024,892	
	印刷製本費	0	
	車両維持費	3,836,581	
	使用料・賃借料	328,000	
	消耗品費	66,612	
	車両運搬費	767,800	
	通信運搬費	173,549	
	PCR検査費	48,500	
	助成事業監査手数料	495,000	
	返礼品等の調達に係る費用	210,045	
	返礼品等の送付に係る費用	111,138	
	広報に係る費用	188,355	
	事務に係る費用	93,150	
	繰越金	374,091	来年度の九州支部運営費に充当予定
支出計	11,278,365		

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。